

体罰をみんなで考えるネットワーク

秋のつどい



学校における教員から児童生徒への暴言・暴力の報道が後をたちません。多くの場合、教師の暴言・暴力は「指導」の名のもとに行われています。たしかに、子どもが何か悪いことをした場合、それはだめなんだと教えることは必要です。しかし、暴言・暴力を用いた「指導」は子どもの心身を傷つけることがあります。

今回の集いは、ゲストスピーカーとして定本ゆきこさんをお招きします。定本さんは、1991年より京都少年鑑別所の精神科医として「非行」の臨床場面に数多く携わってこられました。虐待、いじめ、発達障害などについても臨床医の立場から深い経験をお持ちです。一人ひとりの子どもに寄り添いつつ、その子に合ったサポートの仕方を問い続けておられる定本さんの貴重なお話をうかがい、共に学び合いたいと思います。

非行の背景にあるもの 臨床の現場から見た「体罰」と虐待

日時：10月29日（日）、14時～17時

場所：龍谷大学深草キャンパス、和顔館（わけんかん）B105教室

内容：第1部 定本ゆきこ氏の講演
第2部 講演を踏まえての意見交流会

参加費：一般1,000円、学生・会員500円

※終了後に懇親会を予定

定本ゆきこ氏の略歴

1985年 奈良県立医科大学卒業
1988年 京都大学病院精神科入局
1991年 京都少年鑑別所医務課医師

龍谷大学深草キャンパスへの交通アクセス

- ・京阪「深草」駅から徒歩3分
- ・京都市営地下鉄「くいな橋」駅から東へ徒歩約7分
- ・JR奈良線「稻荷」駅から南西へ徒歩8分



「体罰をみんなで考えるネットワーク」 とは？

子どもへの「体罰」をめぐる、さまざまな“なぜ？”について、さまざまな立場の人々が集い、共に考え、おとなと子どもの「いい関係」づくりを目指すゆるやかなネットワークです。

主催：体罰をみんなで考えるネットワーク
連絡先：taiatsu2015network@gmail.com
FAX：06-6648-1121（CAPセンター・JAPAN）

